

JOURNAL



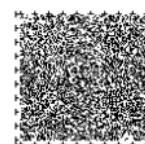
表紙の写真:システムの開発をする赤星美和子さん
キラリ☆かがやく人interview(8p)で紹介しています。

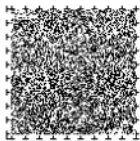
Contents

- 事業紹介…………… **女性のまちづくり参画講座** …………… 2
女性の就業継続支援講座 …………… 3
LGBTに関する講座 …………… 3
- 特集…………… **31年度男女平等推進センターの事業計画** …………… 4・5
- 事業紹介…………… **図書関連講座** …………… 6
- 男女平等推進センターからのお知らせ
図書情報ステーションの開館時間・休館日の変更 … 6
- 相談室だより… **DVがある家庭に育つ子ども** …………… 7
- 男女平等政策課… **日本の男女平等は、世界で110位** …………… 7
- キラリ☆輝く人interview… **世の中をもっと便利にしたい!** …………… 8
- 図書情報ステーション… **読み物からジェンダーを考える** …………… 8

2019

vol.61





女性のまちづくり参画講座

Local Login～地域で暮らすということ～

11月7日～2月5日(全5回)

地域活動への女性の参画を進めるために、意識啓発や女性自身のスキルアップ、ネットワークづくりの支援など、地域コミュニティ組織やPTA等の役員登用につながることを目指し、女性人材の発掘・育成事業を実施しました。講座を通じ、既に地域で活動されている女性も、これから活動する女性も共に地域に関わることの意義を深め、積極的な意見交換や学習、発表が行われました。



トータルコーディネーター 萩原なつ子さん
(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)



●第1回目

「地域で暮らすってどんなこと？」をテーマに、地域活動に関心のある女性の交流会を開催。女性の声をまちづくりに活かしていくために、ワールドカフェ形式で、参加者同士で自分たちが住む地域について考えました。地域に関わることへの意識が高まり、積極的な意見交換がされました。



●第2回目

地域で役員・リーダーをされている女性を対象とした交流会を開催。地域に必要な女性のリーダーシップについて、また、女性が気持ちよく地域役員をするには何が必要なのかなどを話し合いました。地域活動をされる中で抱えていた思いを共有することができた様子でした。



●第3回目

久留米市男女平等政策審議会会長中嶋玲子さんを講師に、「私も地域と関わりたい！」をテーマに公開講座を実施しました。講師自身の被災体験をもとに地域の必要性、女性が地域に関わることの意義など、日常時からの男女平等の仕組みづくりの重要性を熱く語っていただきました。

●第4回目

ふくおかNPOセンター代表古賀桃子さんから、女性が地域に参画する上で必要な自分の考えや意見を表現する技術を学びました。プレゼンは贈り物という考え方や、手書きで自分の考えを整理する、小学5年生にわかるようにするなどのコツを聞いた後、グループ内で「私」をプレゼンする自己紹介を実践しました。



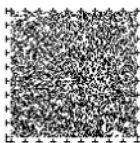
●第5回目

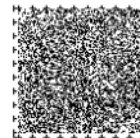
既に地域で活動されている女性とこれから活動する女性が一堂に会し、女性のまちづくり参画交流会を開催しました。自分が描く理想のまちを想像し、「〇〇がある久留米市」というキャッチコピーとそのためになにかができるかを各グループで考え、発表しあい、相互に意識を高めあいました。



ご存知ですか??

久留米市において、自治会長のうち女性が占める割合は7.7%です(平成29年4月1日現在)。日本全体の平均5.8%は上回っていますが、男女が半々で存在することを考えると、いかに低いかがわかります。また、市議会議員に占める女性の割合は15.8%。地域をはじめとする意思決定の場への女性のよりいっそうの参画が必要です。





【女性の就業継続支援講座】

非正規職女性の労働問題を考える

12月9日

非正規職の女性に焦点を当て、様々なデータから経済的にも厳しい女性たちの現状を見つめました。



講師 野依 智子さん
(公立学校法人福岡女子大学 副学長)

ニュースなどでは「女性活躍」という言葉がよく聞かれるようになり、社会の様々な分野でその活躍は伝えられている。

しかし、社会保障制度や賃金体系は、女性は男性に扶養されるものとした「男性稼ぎ主」を前提に構築されている。労働分野においては、女性の就業者数は増加しているものの、雇用される女性の約55%は非正規職である。また、生涯未婚率の上昇に伴い、非正規職シングルが増加している状況である。

非正規の女性たちは、仕事だけでなく、老後の生活や健康面、親の介護など複合的な不安や悩みを抱え、生きづらさを感じている人が多い。こうした状況を改善していくためには、社会の風潮や制度の改革、具体的なサポートプログラムの提案、同じ立場の人のネットワークづくりの支援等が重要である。

【LGBTに関する講座】

多様な性ってなんだろう？～だれもが自分らしく生きるために～

3月9日

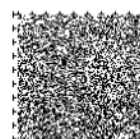
性の多様性は、性自認、性表現、出生時に割り当てられた性別、性的指向の4つの要素で考えられる。性自認は、自分自身をどんな性だと思うかということであり、女性だと思う人、男性だと思う人、中性だと思う人、性別を決めたくない人などがある。性表現は、髪形、服装、仕草、話し方などや女性的、男性的、中性的などがある。出生時に割り当てられた性別は、生まれた時に外性器の形状などによって割り当てられた性別のこと。性的指向は、どんな性の人を好きになるかということであり、異性を好きになる人、同性を好きになる人、どちらの性も好きになる人、性別で好きになる人を決めたくない人、恋愛感情や性的欲求はもたない人など、様々なあり方がある。

一人ひとりが自分らしく生きるためには、まずは、性の多様性を知ることが大切。理解するというよりも慣れるということが大事だと思う。私たちができることは、「ちょっと立ち止まって考える」「身近にいることを想像してみる」「今日聞いたことを誰かに話す」「本やインターネットで調べる」「カミングアウトを受けたら話さない」などがある。今日からでも始めてみよう。



講師 石崎 杏理さん
(FRENS代表)

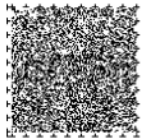
※LGBTとは、レズビアン(女性を愛する女性)、ゲイ(男性を愛する男性)、バイセクシュアル(男性も女性も愛する人)、トランスジェンダー(心と身体の性が一致しない人)の頭文字をとった総称。



31年度 男女平等推進センター事業計画

久留米市男女平等推進センターでは、今年度もさまざまな講座やイベントを企画し実施していきます。新しい発見、新たな出会い。これからの生き方のヒントが見つかるかも?!
ぜひセンターの事業に参加してみませんか!

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事予定	<ul style="list-style-type: none"> 女性の参政権行使日 (4/10) A V出演強要・JKビジネス等被害防止月間 		<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間 (6/23~29) 男女雇用機会均等月間 	<ul style="list-style-type: none"> 同和問題啓発強調月間 			<ul style="list-style-type: none"> 久留米女性週間 (10/1~7) 仕事と家庭を考える月間 	<ul style="list-style-type: none"> 女性に対する暴力をなくす運動(11/12~25) 女性に対する暴力撤廃国際日 (11/25) 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重週間 (12/4~10) 世界人権デー (12/10) 			<ul style="list-style-type: none"> 女性の健康週間 (3/1~8) 国際女性デー (3/8)
1. 女性・男性学	<p>男女平等に関する問題に気づき、直面するさまざまな問題を解決するために力をつける講座です。</p> <p>男女共同参画週間記念講演会</p> <p>女性の政策参画講座</p> <p>LGBTに関する講座</p> <p>次世代男女共同参画促進講座</p> <p>男性のライフデザイン講座</p> <p>男女共同参画サポーターによる地域啓発事業</p> <p>デートDV防止啓発講座、地域啓発講座、関係機関への講師派遣</p> <p>女性のまちづくり参画講座</p> <p>DV・性暴力被害者支援サポーター養成講座</p> <p>男女共同参画基礎講座</p>											
2. 生き方支援	<p>女性の生き方を支援をする相談を行っています。また、寄せられる相談から見えてくる問題を解決していくための講座を企画・実施します。</p> <p>総合相談 (毎日10時~18時…休館日を除く、ただし木曜日17時~20時、日曜日10時~17時)</p> <p>女性弁護士による法律相談</p> <p>法律相談 (第2・第4木曜日14時~15時30分、第3木曜日17時30分~19時)</p> <p>セクハラ防止講座</p> <p>女性の生き方を考える講座</p> <p>こころのケア講座</p>											
3. 就業支援	<p>女性の就業を支援し、経済的・社会的エンパワメントにつなげるための講座を実施します。</p> <p>女性の「働き方」応援事業</p> <p>パソコン技術習得講座</p> <p>関係各課・関係機関等との共催事業</p>											
4. 市民活動・交流支援	<p>男女共同参画社会の実現をめざして活動する市民グループをさまざまな形で支援します。</p> <p>市民グループ公募企画</p> <p>市民グループとの共催・後援事業</p>											
5. 女性と情報	<p>図書を通して、男女平等やジェンダーを考える講座を実施します。</p> <p>小さなお子さんを預けて図書情報ステーションを利用していただくための企画</p> <p>ブックタイム (毎月1回)</p> <p>上映会</p> <p>図書関連講座</p>											
6. 記念・交流事業	<p>市民参画型事業やジェンダーの視点での記念事業などで、市民グループの自主的活動やネットワークづくりを支援します。</p> <p>1988年10月1日、久留米市では男女平等を推進する指針として「久留米女性憲章」を制定しました。この憲章制定日から1週間を「久留米女性週間」と定め、毎年記念事業として「くるめフォーラム」を実行委員会形式で行っています。</p> <p>くるめフォーラム2019(第30回記念)</p> <p>パープルリボンキャンペーン</p> <p>11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間中に、暴力の撤廃に向けてのさまざまなキャンペーン事業を行います。</p>											



事業紹介

【図書関連講座】

源氏物語からジェンダーを考える

2月3日



講師 狩野 啓子さん
(久留米大学名誉教授
久留米大学文学部特任教授)

ジェンダーとは、社会の中で何となく分類されている男性と女性の区分のことである。従来は、フランス語にみられるような物事を男性性、女性性に分類してとらえる「文法的性別」の意味があり、「ジャンル」と同じ語源を持つ。ジェンダーはあらゆる分野にあるため、問題意識を持つと、課題が浮かび上がって見えてくる。

日本の古典文学をジェンダーの視点から読むと、仮名文字は女性性として捉えられており、漢文は男性性が付与されている。歌人の紀貫之が書いた「土佐日記」は、男性の紀貫之が女性の真似をして仮名文字で書かれている。

女性の紫式部の長編小説「源氏物語」は女性性の変体仮名文字で書かれている。ジェンダーの視点で私たちの意識の中の「女らしさ」「男らしさ」を考えながら読んでみるとさらに興味深い。

参加者は「源氏物語」の冒頭を読み上げ、丁寧に解説しながら、古典文学の中のジェンダーについて理解を深めました。

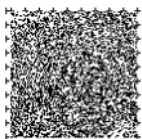
～男女平等推進センターからのお知らせ～

図書情報ステーションの開館時間・休館日が変わります

平成31年4月から、男女平等推進センター図書情報ステーションの開館時間及び休館日を変更します。

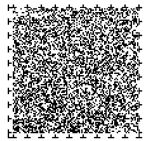
開館時間	月曜日～土曜日	午前10時から午後6時まで
	日曜日	午前10時から午後5時まで
休館日	図書整理日(毎月第2・第4木曜日)	
	月末日・祝休日・年末年始・特別整理期間	

※夜間の図書利用や新聞の閲覧については、中央図書館や六ツ門図書館など、最寄りの図書館のご利用をお願いします。図書返却のみの際は、敷地内のブックポストをご利用ください。



図書情報ステーションは、男女平等や男女共同参画に関する図書資料を扱う専門の図書室として、さらにみなさまにご利用いただけるよう努めてまいります。

相談室だより



～DVがある家庭に育つ子ども～

●DVとは

DVは、親密な関係にある男女間で起こる身体的、精神的、性的、経済的、社会的暴力であり、犯罪をも含む重大な人権侵害です。

その多くは、家庭内で行われるため、外部からの発見が困難で潜在化しやすい傾向があります。

DVの被害者の多くは女性であり、その背景として性別による固定的な役割分担意識や暴力を容認する意識、男女間の経済格差等の社会状況があります。

●DVの中にいる子どもたち

DVが起こっている家庭の多くでは、子どもも暴力の直接的な対象になっています。子どもがDVを目撃したり、物音や声を聞いたり、被害者の負傷の様子を見ることなどは「面前DV」と言われており、児童虐待防止法ではDVの環境に子ど

もを置くこと自体が心理的な虐待であると明言されています。

DVは、子どもに多大な影響を与えることが明らかになっており、子どもはもう一人の被害者です。

子どもはDVの影響により、一方が他方を支配する関係や物事の解決法として暴力を選ぶことを学びます。また、暴力の中で恐怖心を抱えているため自分の感情や意思を押さえこんだりすることがあります。

●DVのないまちづくり

市では国際基準の安全・安心なまちづくりを進めるセーフコミュニティの重点項目の一つに「DVの発生防止」と「早期発見」を掲げています。

今後も、DVの中にいる子どもも被害者であるという視点に立ち、団体等と協働で様々な啓発や研修、相談窓口の周知に取り組んでいきます。

日本の男女平等は、世界で110位！ ～久留米から変わりましょう！～

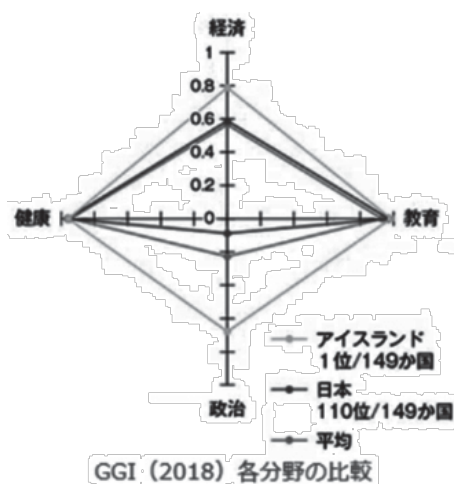
ジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）は、世界経済フォーラムが各国の男女間の格差を指数化したもので、政治・教育・経済・保健の4分野で構成されています。2018年、日本は149か国中110位です。2017年の114位と比べて少し改

善したものの主要7か国（G7）では最下位でした。主な原因は、政治と経済分野の低評価です。

国では、平成30年5月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行され、今後の選挙による格差是正が期待されます。

久留米市でも、様々な分野で男女共同参画を進めています。例えば、平成30年4月1日現在、審議会等の女性の登用率は44.4%と高い水準を保っており、また、市職員における女性の管理職の割合も11.4%と年々高くなっているなど、意思決定の場へ参画する女性は増えています。

多様な意見が様々な場での確に反映されていくための第一歩として、女性の参画は重要です。4月は、地域や様々な団体の役員変更の時期でもあることから、まずは、身近なところから女性の参画・登用を進めていくことが必要です。



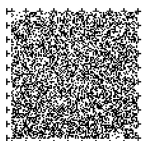
順位	
1位	アイスランド (1)
2位	ノルウェー (2)
3位	スウェーデン (5)
4位	フィンランド (3)
5位	ニカラグア (6)

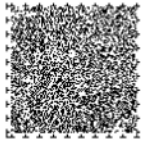
103位中	中国 (100)
110位	日本 (114)
115位	韓国 (118)
※ () は昨年の順位	

主なGGIの指数

政治分野：国会議員に占める女性の比率、閣僚の女性の比率
 教育分野：識字率、初等・中等・高等教育の各在学率
 経済分野：労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値
 保健分野：新生児の男女比率、健康寿命

問合せ 男女平等政策課
 電話番号 0942-30-9044
 FAX番号 0942-30-9703





キラリ☆かがやく人 interview

世の中をもっと便利にしたい!

久留米でいきいきと自分らしい生き方をしている方をご紹介します。

あかほし みわこ
赤星 美和子さん

株式会社テクノ・カルチャー・システム
久留米事業部 ソリューションビジネス部勤務
所在地:久留米市合川町1774-14
2006年に入社
システムエンジニア (SE) として、販売管理システム等の開発を行っている



●この仕事に就いたきっかけは何ですか

高校生の時、ウイルスに感染したパソコンを先生が簡単に修理する姿をみて「かっこいい」と思いました。次第にシステムエンジニアの仕事に憧れるようになり、大学で学びました。

●「仕事が楽しい」と思うときはどんなときですか

お客様から「大変だった業務がシステムを入れたことで楽になった。助かりました。」という感謝の言葉をいただいた時は頑張ってたと思いますし、同時にやりがいも感じます。また、チームで一つのものをつくるので、完成したときの一体感はうれしいですね。

●仕事で壁にぶつかった時、どう乗り越えましたか

まずは問題点がどこなのかを自分で分析しますが、迷った時は社内で勉強会を開いたり知識を蓄える努力をしています。

●プライベートと仕事のバランスは

子どもという時間を大切にしたいと思い、フレックス制度や時短制度を利用しています。仕事の時間が短い分どのようにしたら効率よくクオリティの高いものをつくることができるか、集中力をあげながら仕事と向き合っています。職場の制度と同僚の理解のおかげで子どもの習い事の送迎や行事には全て参加することができています。

●日本では研究者や理工系の女性が少ないのはなぜだと思いますか

理系=男性という固まったイメージがあるからではないでしょうか。システム開発は男女で仕事を区別することはありませんし、女性だから働きにくいということもありません。

●後輩たちへのメッセージをお願いします

お客様のニーズに応え、世の中をもっと便利にするシステムエンジニアの仕事は、男性女性関係なくできる仕事です。もっと多くの女性のみなさんにチャレンジして欲しいですね。

読み物からジェンダーを考える 図書情報ステーション

「源氏物語からジェンダーを考える講座」(本誌P6)に関連する図書を紹介します。



家父長制と近代女性文学

～闇を裂く不穏な闘い～

長谷川 啓 / 著 彩流社 2018年

多くの日本近代女性文学の中でも、特に近代の闇に闘いを挑んだ樋口一葉、田村俊子、伊藤野枝たちを取り上げてその表象をフェミニズム、ジェンダーの視点から紹介する。

語る老女語られる老女

～日本近現代文学にみる女の老い～

倉田 容子 / 著 学藝書林 2010年

年老いた女たちはどのように生き、どのように語られたのか。「坊っちゃん」「羅生門」「老妓抄」「西の魔女が死んだ」など、文学作品の歴史的・社会的・文化的要素にアプローチし、女性の老いをめぐる問題の根幹へと迫る。

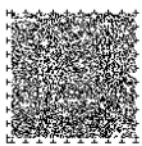


女子大で『源氏物語』を読む

～古典を自由に読む方法～

木村 朗子 / 著 青土社 2016年

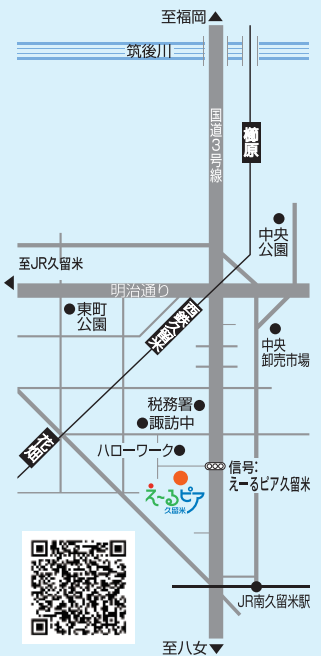
ジェンダー論やセクシュアリティ論などのフェミニズムの視点を切り口に、宮廷物語の「源氏物語」を読み解く。



●編集・発行●
平成31年3月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037
久留米市諏訪野町1830-6
えーるピア久留米内
TEL. 0942-30-7800
FAX. 0942-30-7811
URL. <http://www.city.kurume.fukuoka.jp>
E-mail. danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp



- 徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
- バス/西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分
「税務署前」下車、徒歩5分
- 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この広報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。